



真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します

敬老会



9月3日にて敬老会が開催されました。多くの患者様や家族の方に参加していただき誠にありがとうございました。毎年恒例となりました新人職員の出し物に介護士の濱田さんによる座頭市など様々な出し物があり笑いあり、感動ありの敬老会になったと思います！次回は12月にクリスマス会開催予定です!!お楽しみに♪



9月4日にデイケア敬老会を開催し、普段会われない方と交流し、楽しめました。



職員によるマジックショーがあり、大変盛り上がりました。

2017年10月19日～20日に宮城県仙台市の仙台国際センターにて、第25回日本慢性期医療学会が開催されました。参加者は3000人と大変な盛況でした。学会テーマは、「地域が創る慢性期医療-新たな医療への挑戦-」でした。記念講演では、厚生労働省の医務技監に就任された鈴木康裕氏の「平成30年医療・介護同時改定 toward & beyond」というテーマで、またノンフィクション作家の石井光太氏に東日本大震災での経験を基に「遺体安置所で人々はいかに遺族に寄り添ったか」というテーマで講演がありました。大変学びの多い学会でした。私達も、二つの演題を出してきました。今回の学びを基に、地域に貢献する医療を目指して努力をしていきたいと思えます。

外出訓練を重視し自宅を目指す症例について リハビリテーション科 齋藤 壽

はじめに

現在当院の自宅復帰率は24.5%である。患者様の希望の多くは、自宅へ帰る事を聞かれています。本人の身体能力や家族の介護力の問題で入院生活を余儀なくされている。外出訓練を実施することで、実際の生活空間での能力を家族と共に確認して頂くことで、介助に対する不安の軽減や本人の意欲向上に働きかけたいと考えた。今回、入院当初から特に帰宅願望強く、家族の受け入れも可能な患者様を対象に外出訓練を実施した。

外出訓練の様子



- 課題
- ・ 段差・トイレ動作に指導・助言必要
 - ・ 段差昇降時に四脚歩行器のコントロールがうまく行えない。
 - ・ ソファからの立ち上がり困難

ご家族の心境

- ・ 外出訓練を重ねるうちに上達しているのが分かった。
- ・ トイレに行く際に、ドアの開閉や自分でズボンがおろせるようになって良かった。
- ・ 訓練回数も満足出来る程であった。

考察

外出訓練は、身体状況に合わせた手段を獲得し、その過程を家族と共に気づき、課題を修正していく事で不安の軽減に繋がった。自宅復帰を目指す目的に有効な方法であった。今回症例は、ご家族の介護力と本人の生活力をイメージし、動線内移動とトイレ動作の獲得をする事を退院の目標とした。実生活を通したリハビリを行った事が、家族の安心感を得、患者様の自宅復帰へのモチベーションにも繋がりました。院内のリハビリの方向性に大きく貢献できたと考えます。

身体抑制による患者の苦痛軽減を考える ～腹帯を考案しての結果～

看護部 黒木 咲野

はじめに

近年、認知症患者が増加している現状である。日々の業務の中でオムツを触り排泄汚染に伴う毎回の寝衣交換は、患者にとっても職員にとっても、かなりの負担である。私達は、頻回にオムツを触り汚染する患者に対してミンを着用することが多かった。しかし、ミンを着用することで、患者にとっては、精神的な苦痛が生じることは言うまでもない。これまでに、ミンを使用しない方法を数多く試行してみた。その中で成果を認めたので報告する。



腹帯使用の実際



腹帯の作り方



家族教室

8月26日(土)に慈英病院研修図書室にて第17回家族教室が開催されました。テーマは、「認知症なんて怖くない」～一人でも家族とも出来る予防改善体操～という演題でした。今回は、実技が大半を占め、皆様、熱心に取り組みました。参加者の皆様、ありがとうございました。是非、自宅実践してください。



指を使った体操は、意外と難しいですね。



二人組で行うボール体操は、盛り上がりました。

病棟便り

入院から退院までの流れがどうなっているの?と思われる方が多くいらっしゃると思います。簡単ですが当院での流れ(取組み)をご紹介します。

入院時カンファレンス

今後の目標を担当スタッフ全員で、目標を決め取り組んでいきます。

多職種カンファレンス

- ◎1週間 ◎1ヶ月
- ◎3ヶ月
- ◎必要時適宜実施します

定期的カンファレンスを行い、目標設定し、他職種で情報を共有します。退院に向け、介護保険の申請や福祉サービスの必要性の検討を早期に開始していきます。

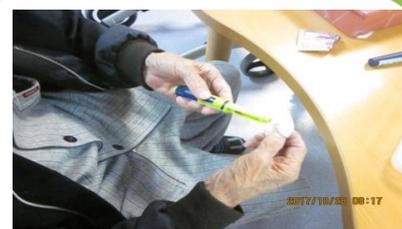
ご自宅、ご施設訪問
移動、移乗の確認や安全に生活が送れるように家屋内の調整をします

退院前にご自宅、もしくはご施設等に訪問し、生活しやすい環境を整えていきます。ケアマネジャー、福祉用具専門相談員の方も同席頂いています。

退院後訪問
退院後の生活が、安全・安楽に送られているか確認に看護師が訪問します

在宅に退院された患者さんについては、必ず1ヶ月以内に訪問し、退院後に問題ないか。また、患者さん、ご施設であれば職員さんと話し、問題点に対して支援させて頂いています。

病棟での取り組み



【血糖測定・インスリン注射の練習】
自宅退院後に自分で血糖測定をしなければなりません。その為、毎食前に血糖測定とインスリン注射の練習を行っています。

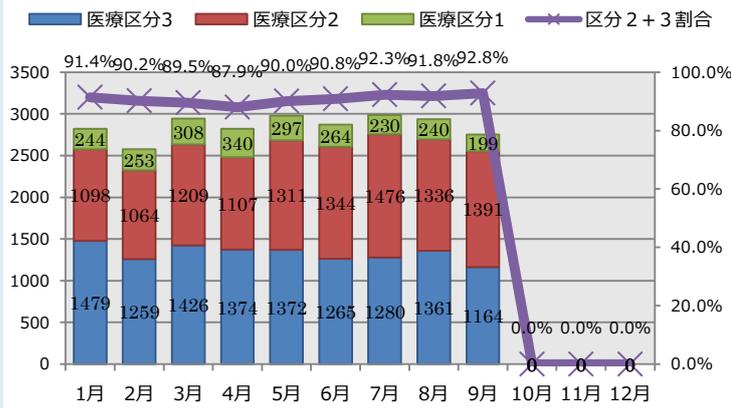
【内服薬の管理】



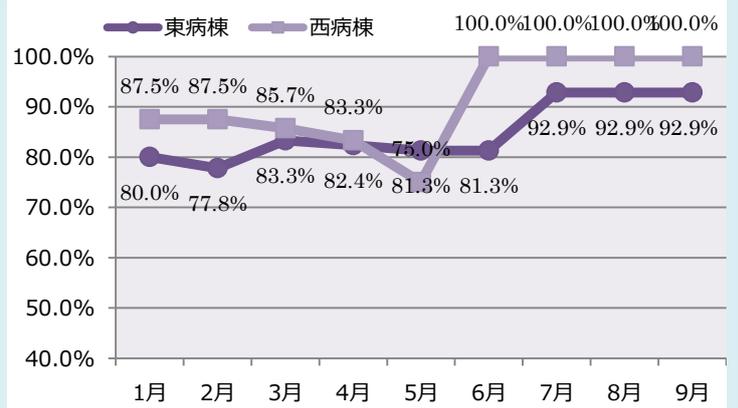
患者さんが、一日でも長い在宅生活を送るには、チーム医療は、重要なことであると思っています。今後も、患者さんに寄り添ったケアを行ってまいります。ご不明な点がございましたら、お気軽に問い合わせください。病院見学をご希望の方は、事務課窓口にお申し出ください。担当スタッフのご案内いたします。

クリニカルインディケーター 2017年(平成29年)

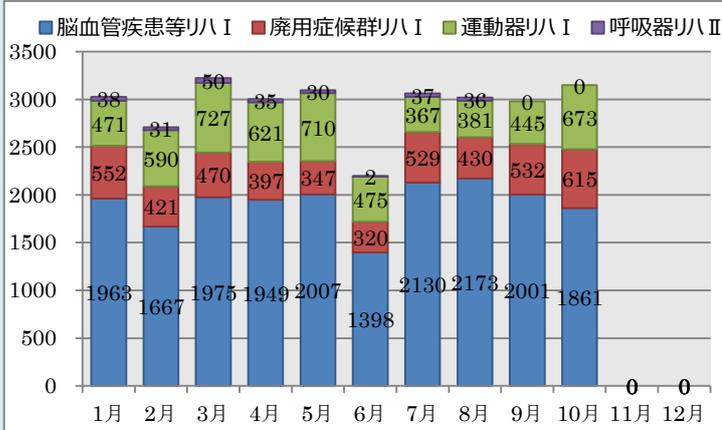
医療区分別入院患者数<平成29年>



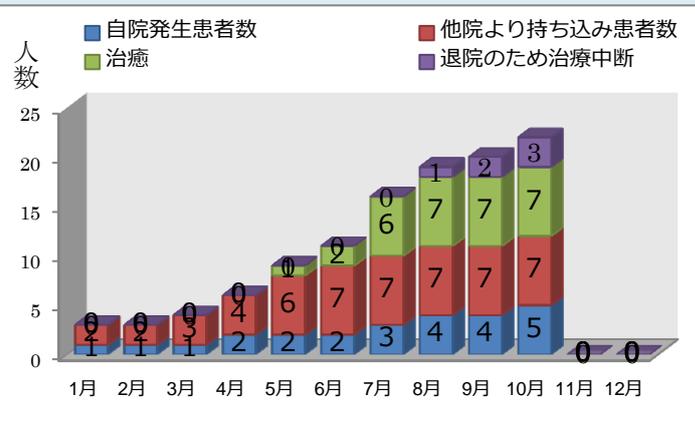
在宅復帰率<平成29年>



リハビリテーション実施状況(単位数)<平成29年>



褥瘡を有する患者数&治癒数<平成29年>



クリスマス会のお知らせ

<p>慈英病院 Xmas コンサート 12月17日(日) 場所：理学療法室 1部 13:30~14:30 2部 15:00~16:00 ゲスト きりんさん</p>	<p>通所リハビリテーション Xmas 会 12月19日(火) 場所：デイケア室 10:00~15:00 ゲスト：未定</p>
---	---

お気軽にお越し下さい
職員一同
お待ちしております

健康教室のお知らせ

日時：11月18日(土) 13:00~15:00

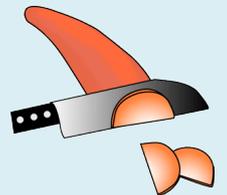
場所：出来島・高洲コミュニティセンター

内容：『在宅を意識した食べ物・食べ方』

- ① 管理栄養士による講話
- ② とろみ体験
- ③ 食材を食べやすく
- ④ 質疑応答

参加費：無料

お気軽にご参加ください。



慈英病院

診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科
〒880-0853 宮崎中西町 160 番地
TE0985-23-5000 FAX 0985-23-5886

URL : <http://www.jiei.jp>

編集委員

江藤裕子 東洋一
上原庸平 中村峻介
横山幸二 仲田由加
黒松和子 大岩根良太
酒井晃 植田悦子
藤枝美和子